



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 崎山 一弘
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部責任者 (氏名) 松本 裕右 TEL 03-3404-7501
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,914	5.8	128	237.1	153	281.4	76	—
2025年3月期第3四半期	6,536	1.6	38	△42.0	40	△41.1	△25	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 64百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	17.88	—
2025年3月期第3四半期	△6.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,743	5,682	64.9
2025年3月期	8,522	5,703	66.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,678百万円 2025年3月期 5,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—		
2026年3月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,123	3.2	201	18.0	209	21.8	74	△45.2	17.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	4,281,200株	2025年3月期	4,281,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	690株	2025年3月期	689株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	4,280,511株	2025年3月期3Q	4,280,511株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善を背景とした緩やかな回復基調が続いたものの、長引く物価上昇や原材料価格の高騰、為替相場の変動による先行き不透明な状況が続いたしました。

こうした経営環境の中、当社グループは、2024年3月期からスタートした中期経営計画（2024年3月期から2026年3月期）の最終年度として、「製品価値向上」「サロン価値向上」「新しい価値の創造」という3つの重点課題を掲げ、再成長を目指しております。

当社は2026年1月24日に創業60周年を迎えました。60周年を迎えるにあたり、「テーマ」「ロゴ」「キーカラー」を策定したほか、2025年10月から記念デザイン製品を順次発売しております。10月に数量限定で発売いたしました『シーボン AC Vリフトセラム』はご好評につき10月中に完売いたしました。また、2026年1月1日からは数量限定で、60周年記念特別限定パッケージの『シーボン ACシリーズ3品』と、60周年のキーカラーをイメージしたブレスリングローズブーケの香りの『フェイシャリスト トリートメントマセa』を発売しております。

直営店舗に関しましては、当第3四半期連結累計期間は、引き続き「新たな顧客の開拓」及び「ロイヤルカスタマーの醸成」の2点を重視し施策を実行してまいりました。

「新たな顧客の開拓」に関しましては、例年の第3四半期は「歳末大感謝祭」等の大型販促施策の実施に伴い、既存顧客へのサービス提供を優先するにあたり、新規来店数が低くなる季節性があるなかで、当第3四半期においては、既存顧客への満足度向上を図りつつ、イベント集客場所の確保を進めたこととリブランディングでの認知度拡大等により、新規来店数は前年同期比110.7%と大きく伸長しております。加えて、新規顧客への接客力向上を目的に、優秀スタッフの接客をマニュアル化し、新規担当スタッフへの研修を強化いたしました。その効果もあり、新規顧客の契約率は前年同期比102.2%、購入単価は前年同期比107.5%となったことにより、新規顧客への売上高は前年同期比121.7%となりました。

既存顧客に関しましては、採用難等の影響により未だスタッフが充足していない店舗があることにより、既存顧客の継続数^{*}は前年同期比100.3%と概ね横ばいとなりました。しかしながら、既存顧客の中でも重点課題として注力しております「ロイヤルカスタマーの醸成」に関しましては、「シーボン工場見学&探検ツアー」の実施や、外部講師を招いてのセルフ骨盤教室の開催等のロイヤルカスタマー限定のイベントを実施したことに加え、ロイヤルカスタマー限定のポイント交換品の拡充等を進めた結果、ロイヤルカスタマー会員数は前期末比105.9%となり、既存顧客への売上高は前年同期比104.2%となりました。

この結果、直営店舗における売上高は6,472,574千円(前年同期比5.6%増)となりました。

販売費及び一般管理費に関しましては、売上高の増加に伴う、売上原価や賞与等の増加に加えて、ベースアップを行ったことによる人件費の増加や、顧客満足度向上のための研修に伴う会議費用の増加により、販売費及び一般管理費の水準は上昇傾向にあります。引き続き経費の効率化及び、利益率の向上に努めて参ります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は6,914,665千円(前年同期比5.8%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は128,272千円(前年同期比237.1%増)となり、経常利益は153,960千円(前年同期比281.4%増)となりました。また、店舗に関連する固定資産の減損損失を特別損失に39,460千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は76,549千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失25,946千円)となりました。

本日(2026年2月5日)に「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」と合わせて「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を開示いたしました。企業価値向上、PBR1倍超の安定的な実現のため、2029年3月期までの目標として自己資本利益率(ROE)7.3%以上、自己資本配当率(DOE)2.8%の目標設定をいたしました。詳細な内容は「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご確認ください。

※ 継続数

：1ヵ月に1回以上来店のあるお客様ののべ人数

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は4,884,317千円となり、前連結会計年度末に比べ270,425千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比290,528千円増）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比139,767千円増）があった一方で、商品及び製品の減少（前連結会計年度末比47,956千円減）、その他流動資産の減少（前連結会計年度末比89,469千円減）によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は3,859,457千円となり、前連結会計年度末に比べ49,642千円減少いたしました。その主な要因は、建物及び構築物の減少（前連結会計年度末比56,430千円減）によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は2,711,691千円となり、前連結会計年度末に比べ220,778千円増加いたしました。その主な要因は、その他流動負債の増加（前連結会計年度末比243,051千円増）があった一方で、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比11,969千円減）によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は349,985千円となり、前連結会計年度末に比べ21,015千円増加いたしました。その主な要因は、資産除去債務の増加（前連結会計年度末比25,738千円増加）があった一方で、その他固定負債の減少（前連結会計年度末比4,723千円減）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は5,682,098千円となり、前連結会計年度末に比べ21,010千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比9,060千円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前連結会計年度末比10,464千円減）によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.9%（前連結会計年度末は66.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日付「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,653,637	2,944,165
受取手形及び売掛金	817,202	956,970
商品及び製品	404,029	356,073
仕掛品	67,102	67,660
原材料及び貯蔵品	431,301	408,457
その他	240,795	151,326
貸倒引当金	△176	△335
流動資産合計	4,613,892	4,884,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,241,271	2,184,840
土地	244,827	244,827
その他（純額）	167,876	166,779
有形固定資産合計	2,653,974	2,596,447
無形固定資産	35,121	24,964
投資その他の資産		
その他	1,243,003	1,261,045
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,220,003	1,238,045
固定資産合計	3,909,099	3,859,457
資産合計	8,522,992	8,743,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,665	92,688
未払法人税等	63,047	51,077
契約負債	1,568,554	1,567,800
資産除去債務	30,802	5,229
その他	751,843	994,895
流動負債合計	2,490,913	2,711,691
固定負債		
資産除去債務	281,524	307,262
その他	47,445	42,722
固定負債合計	328,970	349,985
負債合計	2,819,883	3,061,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	483,930	483,930
資本剰余金	367,830	367,830
利益剰余金	4,686,710	4,677,650
自己株式	△1,501	△1,502
株主資本合計	5,536,970	5,527,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,028	141,563
為替換算調整勘定	10,664	9,180
その他の包括利益累計額合計	162,692	150,743
新株予約権	3,445	3,445
純資産合計	5,703,108	5,682,098
負債純資産合計	8,522,992	8,743,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,536,455	6,914,665
売上原価	1,615,398	1,701,531
売上総利益	4,921,057	5,213,133
販売費及び一般管理費	4,883,009	5,084,861
営業利益	38,048	128,272
営業外収益		
受取利息	285	402
受取配当金	6,577	7,628
受取家賃	—	5,014
投資有価証券売却益	445	10,786
その他	3,369	3,136
営業外収益合計	10,677	26,968
営業外費用		
支払利息	18	—
為替差損	174	—
支払手数料	3,753	1,239
支払補償費	3,921	—
その他	489	41
営業外費用合計	8,357	1,281
経常利益	40,368	153,960
特別利益		
固定資産売却益	2,475	—
特別利益合計	2,475	—
特別損失		
固定資産除却損	8,635	418
減損損失	—	39,460
その他	1,800	—
特別損失合計	10,435	39,879
税金等調整前四半期純利益	32,408	114,080
法人税、住民税及び事業税	59,648	70,568
法人税等調整額	△1,293	△33,037
法人税等合計	58,354	37,530
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,946	76,549
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,946	76,549

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△25,946	76,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,299	△10,464
為替換算調整勘定	1,185	△1,483
その他の包括利益合計	△11,113	△11,948
四半期包括利益	△37,060	64,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,060	64,601

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、化粧品及び医薬部外品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	128,122千円	146,230千円